

令和6年6月28日



学校だより 7月号

神奈川県立平塚盲学校

「小さな自信を積み上げる」

教頭 木村 雅子

来週から7月が始まります。梅雨明けはもう少し先かもしれませんが、雨の合間に見える太陽の力強い光から、夏が着実に近づいてきていることを感じます。

さて、2024年の夏は少し特別な夏になります。パリで7月にオリンピックが、8月にパラリンピックが始まるからです。テレビやラジオ、インターネットのニュースなどでも、よく報道されていますね。

私は今回の大会で、ある選手に注目しています。それは前回東京パラリンピック競泳バタフライ100メートルで見事金メダルに輝いた全盲のスイマー、木村敬一選手です。鍛え抜かれた体で、勢いよく水をつかんでどんどん前に進んでいく迫力ある泳ぎには圧倒されました。表彰台で悲願の金メダルを手にした木村選手の感極まった表情はとても印象に残っています。

自信と才能にあふれているように見える木村選手ですが、私はあるインタビューの映像を見て、実はとても大きな挫折を味わっていることを知りました。2016年のリオパラリンピックで金メダルを逃し、「もう頑張る勇気は湧いてこない。闘う場所から逃げたい。」と思ったのだそうです。そんな木村選手がとった行動は心機一転、単身アメリカへ渡ることでした。全盲で、英語が話せない木村選手が見知らぬ海外の土地で生活する大変さは想像を絶します。プールも自分で探さなくてはなりません。

しかしこのアメリカでの生活が木村選手を大きく変えることになります。インタビューの中で木村選手は、「日記をつけていました。それを読み返したら、自分ってえらいなって思えたんです。」と語っています。ほんの小さなことでもできるようになるとうれしい。たとえば、「今日は食堂のお姉さんに英語でスプーンはどこですか？って、聞くことができた。」などです。小さな成功を喜び、自分を褒め、それを積み上げることで、徐々に心の余白ができてきて、「きっと大丈夫、なんとかなる」と思えるようになってきたのだそうです。そしてアメリカでの2年間の生活を終えて帰国し、臨んだ東京パラリンピックでついに金メダルを手に入れます。

偉大なメダリストも、ときに落ち込んだり、逃げ出したくなったりするというところに、私は親近感を覚えるとともに、どんな小さなことでも喜び、それをコツコツ積み上げていったことで自分への信頼を取り戻した木村選手の偉大さに感銘を受けました。

パリは、木村選手にとって5回目のパラリンピック出場となります。新たな舞台で、どんな泳ぎを私たちに見せてくれるのでしょうか。応援したいと思います。

7月行事予定

- 1日(月) 第1回あま指模試 体重測定(幼小) OT相談 171訓練
2日(火) 第1回はき模試 校外学習(小1組) 体重測定(中普1組、中1-2)
幼小(2組) プール午前 部活
3日(水) 職場見学実習(理3) 学校説明会(幼) 体重測定(普1-2、普2-2)
4日(木) 体重測定(普3-2) 小(1組) プール午前 中普プール午後
5日(金) 学校説明会(小) 周辺校外学習(中普1組) 関盲弁論大会 一斉帰省
8日(月) 舎・寮祭
9日(火) 職場体験実習(理2、保2、本保3) 小プール午前 部活
10日(水) 校外学習(小4) 学校説明会(中) 医療器展示会 15:00
11日(木) 中普プール午後
12日(金) 学校説明会(高・普) 保護者対象進路説明会(普1) 一斉帰省
16日(火) 月曜日課 部活 舎・リーディング
17日(水) 給食最終日
18日(木) 短縮日課 舎・囲碁 図書館棟工事に伴う閉館(～8月9日)
19日(金) ④終業式 生活指導 大掃除 短縮日課 一斉帰省
20日(土) 学校説明会(保専) オープンスクール 13:00
22日(月) 夏季休業(～8月25日)

8月行事予定

- 26日(月) ②始業式 短縮日課 スマホケータイ安全教室(③保専④中普)
④夏季実習報告会(保専) 舎・安全指導
27日(火) 短縮日課
28日(水) 給食開始

